

実際に起こったケータイ事件はこちら

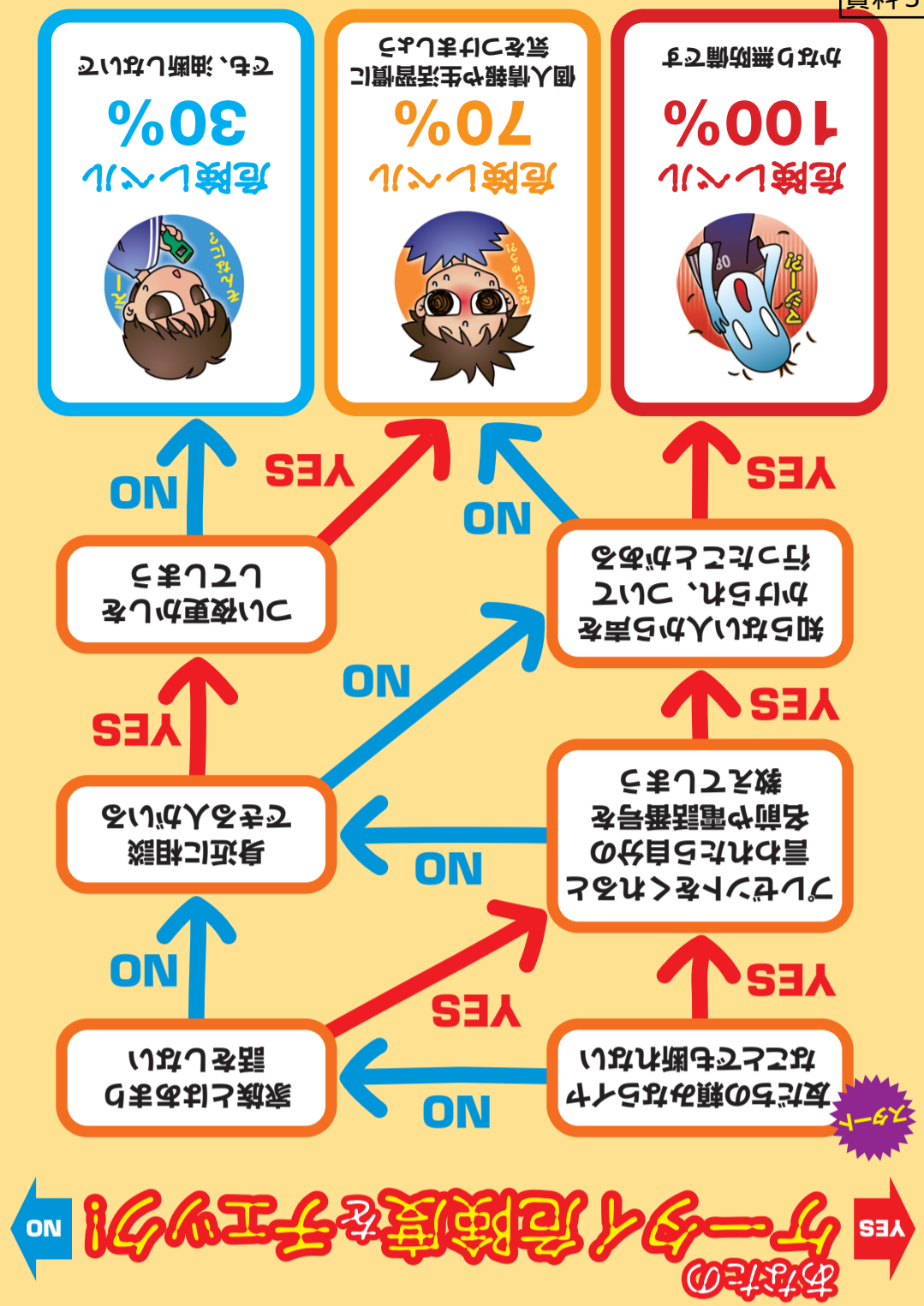
例) 食事中は使わない 1日の利用時間は60分まで
 自分の個人情報を送らない 悪口を書きこまない
 家ではリビングで使う 充電器はリビングに置く

どんな時に使うのか、何のために使うのか、保護者と話し合っルールを作ってみよう。



「私は気をつけているから大丈夫」と思っている、ケータイは知らないうちに未知の世界に入ってしまう危険がある。フィルタリングをかけなかったり、ルールやマナーを守らないために、思わぬトラブルに巻き込まれてしまうコトサがある。

ケータイって今すぐ必要なもの？ 何に使うものなの？



ケータイでトラブルに！でも、ひとりで悩まないで。

ステップ1 知らない人には **会わない** (Don't meet unknown people)

ステップ2 家族に、先生に **聞こう** (Ask family/teachers)

ステップ3 近くの警察や消費者センターに **相談しよう** (Consult police/consumer center)

困った時の相談窓口
警察総合相談窓口：全国共通短縮ダイヤル「#9110」（ケータイからも可）

保護者のみなさまへ

小学校高学年から中学校入学の時期に携帯電話を持つ子どもが多くなっています。青少年を有害情報環境から守るためのこのリーフレットが、安全・安心に携帯電話を利用することができるよう、子どもたちと一緒に考えるきっかけとなることを願っています。

- 携帯電話がもたらす危険性を十分知っていますか？ 子どもに教えられますか？
- 子どもに持たせる携帯電話にインターネット機能は必要ですか？
- 子どもが持つ携帯電話のフィルタリングサービスを知っていますか？

出会い系サイトやアダルトサイトなど有害サイトへのアクセスを防ぐ「有害サイトアクセス制限サービス」を、携帯電話会社が無料で提供しています。各携帯電話会社等へお問い合わせください。
 NTTドコモ 0120-800-000 (無料) ソフトバンク 0088-21-2000 (無料)
 KDDI (au) 0077-7-111 (無料) ウィルコム 0120-921-156 (無料) イー・モバイル 0120-736-157 (無料)

■ 携帯電話の利用状況を把握していますか？ 利用のルールを作ることをおすすめします。これらのことを十分考えて、子どもと一緒に携帯電話の使い方について、話し合ってみてください。

※フィルタリングの情報もついています。

ちょっと待って、**ケータイ**

ネット安全安心全国推進会議 (文部科学省・財団法人インターネット協会)

やめようゾーン



●メールや掲示板の発信者はわかる

メールを集中して送りつける、掲示板で中傷する、個人情報や画像を掲載する。

左のマンガの例のように、誰なのかはわからないと思っても、実は送った人や書いた人は特定できる。ケータイはインターネットでつながっているのだから、悪意ある人を追跡することができるんだ。

●なぜ発信者がわかるのか?

パソコンにはそれぞれ違った「IPアドレス」が振られていて、携帯電話にはそれぞれ違った「個人識別番号」が振られている。その「IPアドレス」や「個人識別番号」とアクセス時刻などの記録があれば、発信者までさかのぼることができる。

●アドバイス

「自分がされてイヤなことはしない」という相手のことを思いやる気持ちを忘れないようにしてください。会話より文字はキツク感じるもの。言葉ひとつひとつを大事にすれば文章力アップにつながる。



男子中学生重傷：プロフの掲示板に中傷書きこみ 2008年4月

男子中学生(14)が少年(17)に金属バットで殴られ重傷。男子中学生がプロフに少年と同じ暴走族の格好をした自分の写真を載せたことをきっかけに、掲示板に「中3のガキに馬鹿にされた」などと約10人が20回以上にわたり、双方の中傷を繰り返し書きこんでいた。

男子高校生死亡：自分のプロフに中傷書きこみ 2008年7月

男子高校生(15)が元同級生の少年(15)に暴行を受け死亡。男子高校生がプロフに「ギターをやる奴にろくな奴はいない」などと書いたことで少年は腹をたてた。

誰かが見ているよ!
いじめはとても
恥ずかしいこと
ケータイ
いじめ

ネットでの発言だって罪になる

姿が見えないからと言えばなは通用しない。面白半分の書きこみでも多くの人が見るから立派な犯罪となるのだ。子どもの検挙件数も多数で、未成年でも逮捕されている。



◆例1: 特定の個人に対する悪口、中傷

「名誉毀損罪」や「侮辱罪」などの対象となる。

・13才女子中学生

学校裏サイトとよばれる掲示板で、実名をあげた中傷の書きこみをした

◆例2: 犯行予告

「放火する」「殺す」などの犯行予告があれば警察や学校が厳戒体制をとったりして、業務が妨害されるので、「業務妨害罪」の対象となる。

・13才男子中学生

掲示板に新潟駅を放火し無差別殺人をするなど書いた

・17才女子高校生

携帯専用サイトの掲示板に、歴史に残る大量殺人をするなどと予告した



無視しようゾーン



これ何?

不思議なメール

メールアドレスが他の人に使われている、どうして?

●解説

これは誰かのいたずらで、他人の携帯アドレスを偽装する「なりすましメール」。ケータイ画面からは本人からのメールかどうか判断ができないのが、やっかい。自分から自分に届くものもある。

●アドバイス

不思議なメールをもらったら怪しいと思おう。「私のアドレスからのメールだ」「この人がこんな事を書くわけがない」と、どんどんゴミ箱に捨ててしまおう。ケータイの設定で迷惑メールを受信拒否する方法があって、なりすましメールも拒否できる。みんなで各携帯電話会社等の迷惑メール対策を設定すれば解決する。

簡単に信じないで... 楽しそうなサービス

●占いサイト

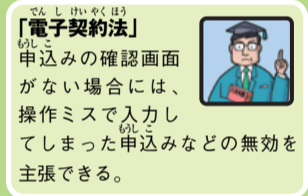
いつも届くメールに恋占いのサービスあったので、自分の情報を書いて送信し、何も疑うことはなく結果ボタンをクリックした。その後メールが何通も届くので、なんだろうと開いてみたら、出会い系サイトに登録されてしまった。

●懸賞サイト

懸賞の応募でメールアドレス等を入力した後に、いきなり出会い系サイトの登録完了画面があらわれた。1日に何十通もメールが届くので、退会したいと問い合わせたが全く無視。メールの量も減らない。

●解説

これは、「占い」や「懸賞」「無料着メロ」などのサイトから個人情報を入力させ、連携している出会い系サイトへ勝手に登録されてしまうというもので、トラブルが増えている。個人情報を入力するだけの目的のもので、個人情報は悪徳業者に売られる可能性があって取り返すのは不可能だけど、無視し続けるかメールアドレス変更をする対策しかない。お金の請求があっても払わなくて大丈夫。



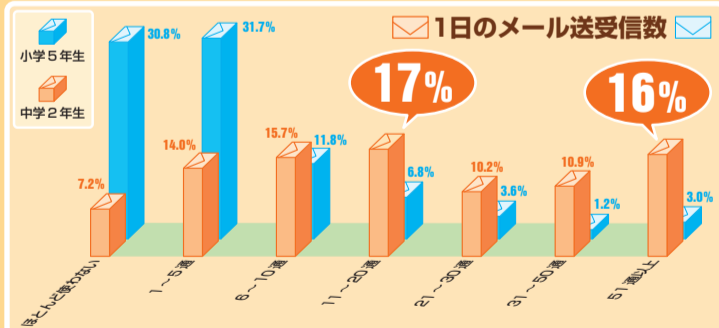
見直しゾーン

勇気をもってメールをとめる宣言を! ケータイ依存



●解説

日本PTA全国協議会が2007年に実施した「子どもとメディアに関する意識調査」(小学5年生と中学2年生の子どもと保護者を対象)では、



中学2年生の1日の携帯メール送受信数は11~20通が最も多くて17%だったが、51通以上も16%いた。さらに「深夜でもかまわずメールのやりとりをしよう」が51%や「メールが返ってこない不安になる」と感じる子どもも多かった。ところが、本音を聞いてみると、嫌ってないという証拠のために一生懸命メールを返していることが多い。「ここで終わり」の文句にたどりつてまでタイミングがわからず、延々とメールを送り続けている。やさしい気持ちを見せかけて伝えるために...

●アドバイス

つまり、答えは簡単。誰かが勇気をもって宣言してしまえばいい。例えば

- 夜6時から7時は食事中なのでケータイチェックはしません。
- 夜8時から10時は勉強や自分の好きなことをするので、すぐには返しません。
- 夜10時以降は電源を切っています。
- どうしてもすぐに返事できないこともあることをわかって!

こうすることで、自分はメールに追われる強迫観念から逃れられるし、相手もラクになるでしょう。メールに夢中になる時もあるだろうが、宣言しておくだけでも全然違うはずだ。そしてケータイから離れた開放的な気分になれば、本心の言葉が出てくるはず。見せかけではない本当のやさしい気持ちがこもったメールとなり、そのメールを受けた相手はやさしい気持ちになっていくといいね。

キケンゾーン

プロフ、ゲーム、メル友、ブログ かくれたワナ! 本当に友だちなの?

コミュニティサイト

●解説

同じ趣味をもった人が集うサイトなら、きっと気の合う友だちが見つかる。それに、怪しそうな出会い系サイトじゃないから安心と思うのは落とし穴。相手は同世代の同性かと思っていたら、そうじゃなかったり、カレシとして付き合っているつもりで、名前や学校名を教えたしまったら、暴行、誘拐、恐喝などの事件に巻きこまれたりするかもしれない。

●アドバイス

自分は絶対に大丈夫と思わないで。「自分の情報を教えること=危険なこと」そして「会うこと=もっと危険なこと」と思いましょう。はじめやさしいのは、相手の狙いだったりする。本当の顔が見えないケータイで素直な出会いを求めないで。また、お金をあげるからと写真や自分のものを送らせる手口もある。特に顔がわかる写真は危険で、一度ネットに流れた写真は、あちこちに載せられたり加工されたりして、取り戻すことはほとんどできないんだ。

プロフに個人情報 女子中学生刺される

2008年5月

女子中学生(15)が自分のプロフに顔写真や住所を掲載していた。そのページに男性(36)が「今日なにしてた?」「なに食べた?」といったたわいもないやりとりを書きこみ、男性は一方的に好意を募らせていった。ところが、返信がなくなり拒絶されたと感じて、帰宅前に待ち伏せして刺した。

人気サイトを見てみると、不注意な友だちがしや女の子のふりをした男の人に誘われて悩む書きこみを見かける。危険なので注意しよう。

例「メル友募集〜。誰でもOKです。私はちゅう3です。メルアドは****@****.jpです。」
例「誰か助けて。女の子だと思ってメールしたのに男の人だったんです。そしていっぱいメールしてくるんです。」

